

事務事業名	健康講座開催事業		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業	法令根拠	老人保健法
政策名	0:5	安心して暮らせる保健・医療環境づくり	所属部門	住民福祉 部	保健福祉 課 保健推進 係(グループ)
施策名	1:2	生涯を通じた健康づくり	課長名	江口 久子	担当者名 三枝 泰子 (内555)
基本事業名	3:1:1:1:1	健康づくりの充実	予算科目	会計 款 項 目 事業	0:1 0:4 0:1 0:7 1:2 健康教育事業
全庁共通課題	<input type="checkbox"/> 協働のまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 男女共同参画 <input type="checkbox"/> 食のまちづくり <input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 次世代				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 全体計画の投入量を記入 (開始年度 13 年度 ~) (年度 ~ 年度)				

事業概要 町民が集まりやすい場所に出向き、健康について情報提供を行なう。主な講座内容を広報や以前利用いただいた各団体、企業に周知している。申し込いただいた各団体と日程会場調整をし、希望講座内容によっては薬剤師・歯科衛生士・健康体操講師・保育士に依頼を行い、健康管理について幅広い情報を発信できるように、様々な職種で対応している。保健師・栄養士も講師となる。特に農閑期である10月以降の秋・冬の利用数が多い。料金は無料であるが、料理実習を伴う場合は材料費は団体で負担して頂いている。	全体計画	(単位:千円)
	特定財源	
	一般財源	
	その他	
	事業費計 (A)	
	正規職員従事人数	
人工		
人件費計 (B)		
総計	イータルコスト(A)+(B)	

1 現状把握の部 (DO)	
(1) 事務事業の目的と効果 手段(具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	
16年度実績 依頼団体から申込を受け、日程会場調整をし依頼団体へ案内文を送送する。保健師・栄養士以外の講師に依頼する場合は行使依頼文を送送する。講座終了後は依頼団体にアンケートを取り事業展開の参考としている。	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 開催回数 回 イ ウ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 参加人数 人 イ 依頼団体数 団体 ウ 成果指標(対象における意図された対象の程度)数字は記入しない 名称 単位 ア 利用しての満足度(アンケート回収分) % イ ウ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 適切な健康行動がとれている人の割合 % イ ウ
17年度計画 16年度と同様	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 全町民	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 健康意識を高め、自己の生活習慣を振りかえり、改善に取り組むきっかけとなる。また、育児等の情報を発信し、日頃の子育てに役立てられる。	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 適切な健康行動がとれ、生活習慣病の予防ができる。	

(2) 総事業費・指標等の推移									
	単位	14年度(実績)	15年度(実績)	16年度(実績)	17年度(見込)	18年度(目標)	19年度(目標)	年度(最終目標)	
投入量	事業費	千円	178	172	157	104			
	特定財源	千円	111	106	322	136	240	240	
	一般財源	千円							
	その他	千円							
	事業費計 (A)	千円	289	278	479	240	240	240	0
	人件費	人	6	5	5	5			
正規職員従事人数	年間			0.0976					
人工	年間								
人件費計 (B)	千円	0	0	901	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	289	278	1,380	240	240	240	0	
活動指標	ア 回	49	43	55					
対象指標	ア 人	934	680	1,008					
成果指標	ア %	92	96.8	91.7					
上位成果指標	ア %								

(3) 事務事業の環境変化・町民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か? 新聞やテレビ、インターネット等、様々な情報機関の発達により健康管理に関する情報を手軽に入手出来るようになった。しかし、誤った一面的な考え方により、偏りや混乱を招いている実情がある。そのため対象者との直接対話の中で健康情報を伝え、さらに町民の健康状態を知る活動を積極的に実施していきたいと考えたため。	事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか? 普段関わりの少ない団体(企業組合等)からの利用もあり、接点の幅が広がっている。また、利用した団体では健康に対する学習意欲が高いことが伺える。
この事務事業に対して関係者(町民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか? 毎年継続して依頼する団体が多く、また16年度は新規依頼団体が20か所あり、地域に浸透してきている。事後のアンケート結果では、回収できた36団体からは「今後も利用したい」との意見があった。また、満足度も高い。	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との結びつき この事務事業の目的は町の政策体系に結びつくか？意図することが上位施策に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びつかない [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 結びつく [理由] ↷	各年代に適切な健康情報を提供することで、「生涯を通じた健康づくり」に役立ち施策に結びつく。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 手が引ける [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 手が引けない [理由] ↷	他に町民を対象とした健康講座を実施できる機関が無い。
	対象・意図の拡大又は縮小余地 対象と意図の拡大・縮小の余地はないか？(拡大による成果向上、限定・縮小による公的関与の適正化やコスト削減はできないか)	<input type="checkbox"/> 余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↷	子育て期～熟年期とそれぞれの発達段階に合わせたテーマを設定し実施している。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある [原因] 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 余地がない [理由] ↷	利用者の拡大をはかることにより成果向上は図れるが、受け入れのキャパシティに限界がある。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無と有の場合の問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 【具体的な影響】 ↷ 【問題解決策】 3 改革・改善方向の部へ	町民が手軽に健康講座を受ける機会が少なくなる。また、町民と接する機会が減ることで、地域の状況を把握する手段が減る。
	類似事業との統廃合余地 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合余地はないか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 上記他に手段等の統廃合が可能 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 上記他に手段はあるが統廃合できない ↷ [理由]	類似事業は無いため。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ↷ [理由]
	全庁共通課題の貢献 全庁共通課題の解決に対してこの事業はどんな貢献をしましたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献した ↷ 【具体的に】 <input type="checkbox"/> 貢献していない ↷ 【全庁共通課題にもかかわらず貢献していない場合はその理由】	健康的な生活習慣の普及のため貢献した。
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(工法の適正化など)事業費を削減した場合の影響の有無と、問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 【具体的な影響】 ↷ 【問題解決策】 3 改革・改善方向の部へ	保健師・管理栄養士だけでなく、幅広く健康に関して情報提供していくためには、専門職種の協力は不可欠であると考え。
	人件費(業務所要時間)の削減余地 成果を下げずに所要時間を削減できないか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 可能 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 [理由] ↷	町民の希望に添って講座を開催・準備するためには必要である。
公平性 評価	受益者負担の適正化余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっているか？	<input type="checkbox"/> 適正化余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 適正化余地がない [理由] ↷	受益者負担が発生すると利用数の減少が考えられる。

3 改革・改善方向の部(PLAN)

(1)今後の事業の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(3)改革・改善による期待成果																	
利用者の要望を聞きながら、ニーズに添ってより幅広い情報提供することが望まれる。また、継続して周知を行い、利用者の拡大を行っていく。	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>維持低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			×	維持低下		×	×
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上			×														
	維持低下		×	×														

(2)改革,改善を実現する上で解決すべき課題は何ですか？それをどう解決していきますか？

利用者のニーズ把握 事後のアンケートの継続や他事業実施時に町民のニーズを把握する。
 事業の周知 他事業実施時に積極的に周知する。